

ソフト系IT業界の実態調査

報 告 書(第17回)

令和7年9月

一般社団法人 島根県情報産業協会
しまねソフト産業ビジネス研究会

はじめに

平素は情報産業の発展に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

島根県では平成 19 年度からソフト系 IT 産業の支援を強化されてきており、今年度におきましても厳しい財政状況の中、情報産業の振興を推進していただいております。お陰様で県内情報産業の人材育成や県外ビジネスの推進、Ruby 開発推進などにおいて数々の成果が上がってきております。

その効果の検証をも兼ねて、今年も県内のソフト系 IT 関連従事者数などの実態調査を実施いたしました。島根県情報産業協会・しまねソフト産業ビジネス研究会の会員を含む県内ソフト系 IT 企業 85 社にアンケート調査を依頼し、このうち **83 社** (ソフト系 IT 企業 80 社) から回答を得ましたのでご報告申し上げます。

令和7年度 調査結果(概要)

- ・ソフト系 IT 企業従事者数(県内分) **1,985 名** (前年 1,901 名: 104.4%、前々年 1,784 名)
- ・売上額(ソフト系 IT 企業) **40,881 百万円** (前年 36,549 百万円: 111.9%、前々年 33,363 百万円)
- ・経常利益(ソフト系 IT 企業) **3,156 百万円** (前年 2,724 百万円: 115.9%、前々年 2,515 百万円)
- ・Ruby エンジニア(全回答社) **533 名** (前年 505 名: 105.5 %、前々年 499 名)
- ・Ruby 開発売上(全回答社) **2,362 百万円** (前年 2,150 百万円: 109.9%、前々年 2,263 百万円)

令和7年度調査では、売上額が 11.9%増で 408 億円となりました。経常利益は、15.9%増加し 31 億円となりました。売上額は、対前年売上増加企業は減少したものの、過去最高値を引き続き更新しました。

県内 IT 従事者数は 84 名増加の 1,985 名となりました。IT 業界の慢性的な人材不足から、人材採用需要には旺盛なものがあります。

H27 年度調査から行っている IT エンジニアの不足状況については、その数は、システムエンジニア 138 名、プログラマー122 名となります。不足を訴える企業は、県内企業 32 社、県外企業 23 社であり、回答企業に占めるその割合は、県内本社では 69.6%、県外本社では 67.6%です。人材不足に関して、令和7年度調査では、不足を訴える県外本社企業が急激に低下し、県内企業のそれを下回りました。

県内ソフト系 IT 企業が今後の更なる安定成長を図り、有能な県内若年労働者の雇用の場を確保する為に、協会も鋭意努力をする考えです。成長性の高い情報産業が県内の主要産業として産業振興の一翼を担うべく、協会挙げて取り組んでまいりますので、引き続き力強いご支援をよろしくお願い申し上げます。

令和 7 年 9 月

一般社団法人 島根県情報産業協会
会長 井上 浩

令和7年度ソフト系 IT 業界の実態調査報告書

目 次

はじめに

1. 調査の概要	1
1－1 調査目的	
1－2 調査内容	
(1) 調査対象と調査方法	
(2) 調査項目	
(2)－1 IT 従事者数	
(2)－2 売上高	
(2)－3 人材不足の状況	
(2)－4 Ruby 関連調査	
1－3 回収状況	
2. 調査結果	
2－1 回答企業の属性	2
(1) 本社所在地及び県外事業所展開構成	
(2) IT 従事者数別構成	
(3) 売上高別構成	
2－2 業績分析	
(1) IT 従事者数推移.....	3
a) 従事者数推移	
b) 個別企業県内従事者数の増減	
c) 不足している IT 従事者数	
(2) 売上高推移.....	5
a) 売上推移	
b) 経常利益推移	
c) 売上の動向	
(3) Ruby 関連.....	7
a) Ruby エンジニア数推移	
b) Ruby アソシエーション認定技術者数推移	
c) システム開発件数	
d) Ruby 開発売上額	
(4) 情報処理技術者数.....	9
(5) IT 関連施策への提言や協会活動、資格取得に関する要望、その他・・・	10
3. 調査結果集計表	12
4. 回答企業一覧と参加団体	14

1. 調査の概要

1-1 調査目的

島根県からソフト系 IT 産業に特別の支援を頂いており、その直接的あるいは間接的な効果を測定し、今後の更なるソフト系 IT 産業支援に役立てて頂くと共に、我々自身の経営方針・経営戦略に役立てる。

1-2 調査内容

調査対象と調査方法

(一社)島根県情報産業協会及びしまねソフト産業ビジネス研究会の全会員、その他県内 IT 企業の一部、県内ソフト系 IT 企業 85 社を対象とした。

対象企業に調査票を送付し、対象企業内で記入の後、メールにより回収した。今年度は、7 月を報告締切りとした。

なお、本調査報告でソフト系 IT 企業とは、産業分類上の情報サービス業及びインターネット付随サービス業と定義する。以下、調査報告の対象は特に言及する部分を除きソフト系 IT 企業の数値を掲げる。

(1) 調査項目

(1)-1 IT従事者数(正社員、非正規雇用者、派遣従事者別)

- a) 島根県内企業の県内 IT 従事者数及び県外事業所 IT 従事者数
- b) 島根県外本社企業の島根県内事業所における IT 従事者数

(1)-2 売上高等

- a) 島根県内企業の売上高及び経常利益
- b) 島根県外本社企業の島根県内事業所における売上高及び経常利益

(1)-3 不足している人材

- a) 調査時点で不足を感じているシステムエンジニア・プログラマーの数

(1)-4 Ruby 関連調査

- 1 Ruby エンジニア数
- 2 Ruby アソシエーション認定技術者数
- 3 Ruby システム開発件数・売上額

(1)-5 情報処理技術者数(国家試験)

(1)-6 資格取得に関するその他・要望

(1)-7 IT 関連施策への提言や協会活動、資格取得に関する要望、その他

(2) 期間

(2)-1 対象期間

- a) 売上等の決算関係数値は、調査時点での直近の決算数値
- b) IT 従事者数については 4 月 1 日現在の数値

(2)-2 調査期間 令和7年4月～令和7年8月

1-3 回収状況

全回収件数 83 社(新規回答社 4 社、回収率 97.6%)
うちソフト系 IT 企業 80 社(新規回答者 4 社)

2. 調査結果

2-1 回答企業の属性

(1) 本社所在地及び県外事業所展開構成

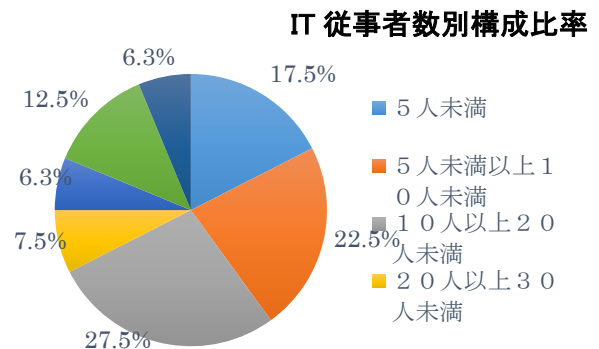
本調査のソフト系 IT 企業の有効回答 80 社のうち、令和 7 年度調査の県内本社企業は 46 社。そのうち県外への事業所展開企業は、23 社。

年 度	県内企業数(県外展開企業数)	進出企業数(従事者数)	合計
R5 年度調査	45 社(26 社)	30 社(318 名)	75 社
R6 年度調査	46 社(25 社)	29 社(351 名)	76 社
R7 年度調査	46 社(23 社)	34 社(397 名)	80 社

(2) IT 従事者数別構成

10 人未満の企業数が 40.0%を占める。従業員 30 名以上の企業は 20 社で、これらの企業の従事者数は IT 従事者総数の 78.5%を占める。

カテゴリー	社数(社)	構成比(%)
5 人未満	14	17.5%
5 人～9 人	18	22.5%
10 人～19 人	22	27.5%
20 人～29 人	6	7.5%
30 人～49 人	5	6.3%
50 人～99 人	10	12.5%
100 人以上	5	6.3%
合計	80 社	100%

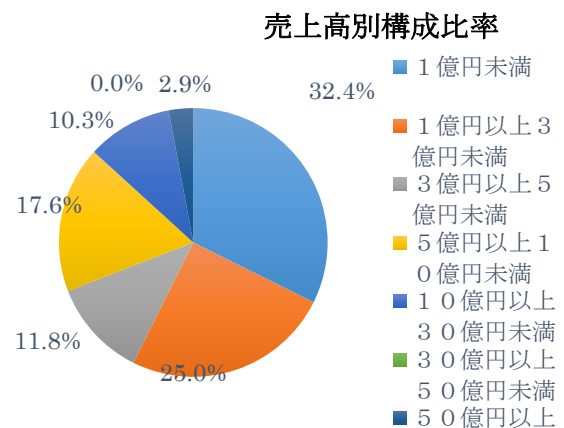


(3) 売上高別構成

有効回答 68 社の売上高別構成は、1 億円未満がもつとも多く 22 社で 32.4%を占める。

10 億円以上の会社は 9 社(68 社の 13.2%)。その売上が 61.5%を占める。

カテゴリー	社数(社)	構成比(%)
1 億円未満	22	32.4
1億～3億円未満	17	25.0
3億～5億円未満	8	11.8
5億～10億円未満	12	17.6
10億～30億円未満	7	10.3
30億～50億円未満	0	0.0
50億以上	2	2.9
合計	68 社	100%



2-2 業績分析

(1) IT 従事者数推移

a) IT 従事者数推移

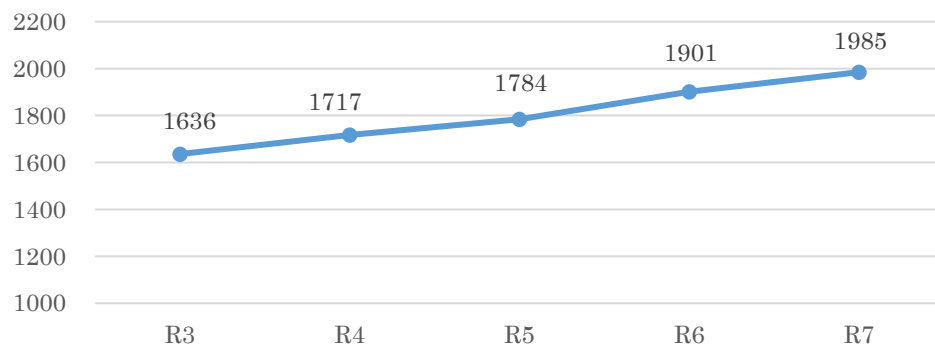
- ・令和7年度調査(令和7年4月1日現在)従事者数は、県内で従事する者が84名増加した。
- ・県内本社企業で37名増加し、県外本社企業で県内従事者が47名増加している。
- ・県内本社企業の県外従事者数は、69名減少の820名となった。特定社の業容変化に伴う減少による。

	R5 年度調査		R6 年度調査		R7 年度調査	
	県内従事	県外従事	県内従事	県外従事	県内従事	県外従事
小計	1,784	869	1,901	889	1,985	820
合計	2,653 名		2,790 名		2,805 名	

※県内:県内に本社を置く企業の県内従事者と進出企業の県内従事勤務者の合計

※県外:県内に本社を置く企業の県外事業所に勤務する従事者の総数

県内IT従事者数推移 年度は調査年度

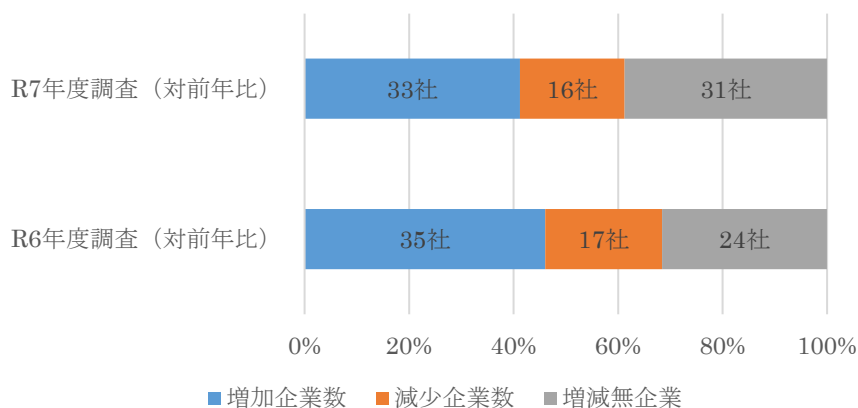


b) 個別企業県内従事者数の増減

- ・令和7年度調査県内従事者数が、前年に対し増加した企業数は33社。減少企業数は16社。有効回答社構成比でみると増加した企業は4.8ポイント減の41.3%。一方減少した企業は2.4ポイント減の20.0%である。
- ・ソフト系IT企業80社の1社あたり県内IT従事者数の中央値は12人である。

	増加企業数	減少企業数	増減無企業数	合計
R6 年度調査従事者数(前年比較)	35 社	17 社	24 社	76 社
R7 年度調査従事者数(前年比較)	33 社	16 社	31 社	80 社

個別企業従事者数の増減

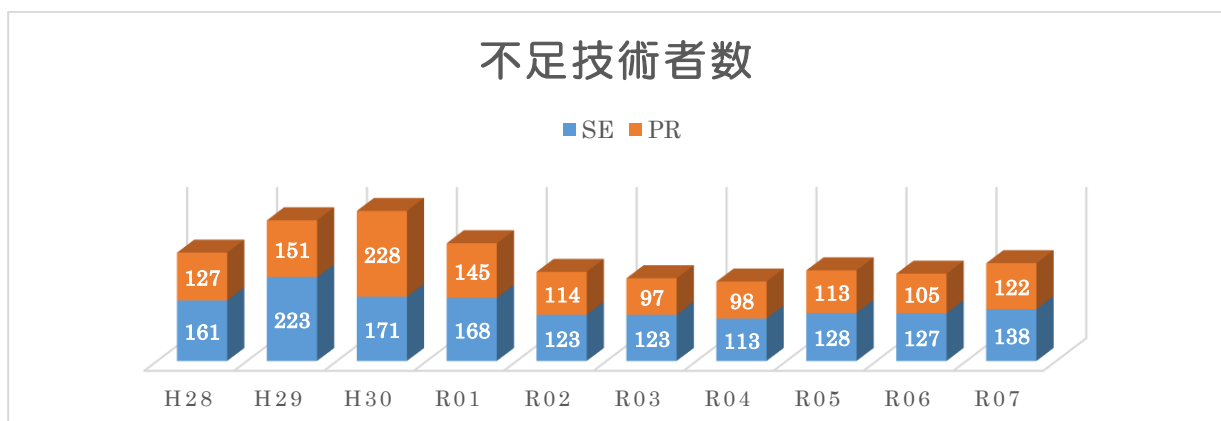
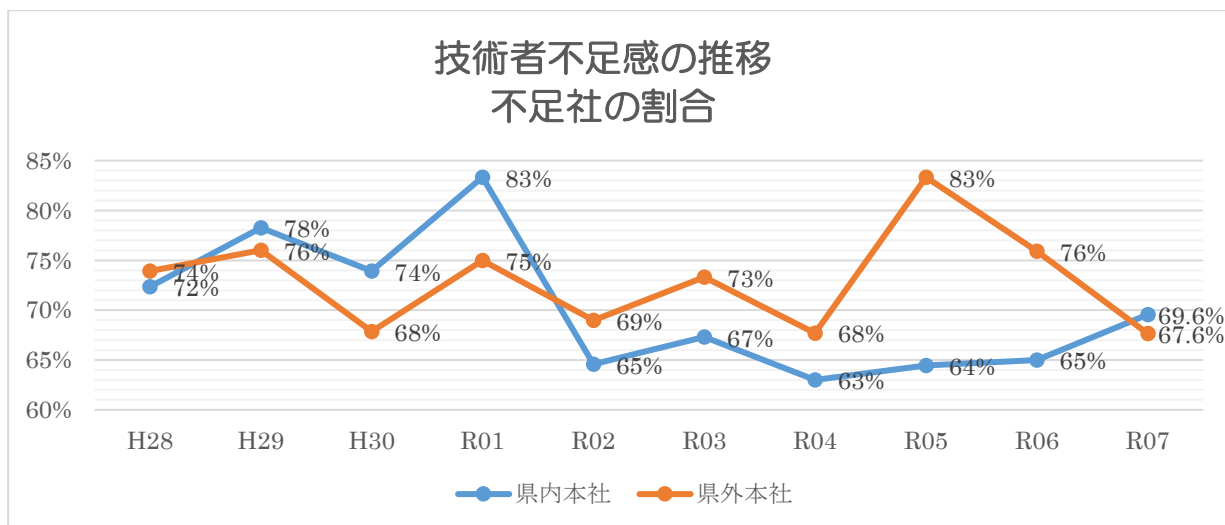


c)不足している IT 従事者数

・IT 技術者（システムエンジニア・プログラマー）が不足していると感じている IT 企業は県内 本社で 69.6%、県外本社で 67.6%、不足する技術者数はシステムエンジニアで 138 名、プログラマーで 122 名となった。県内本社＞県外本社の傾向であり、人材不足解消の動きが県外本社企業で顕著である。

区分		SE①	P②	①or②	有効回答	割合	
全社		社数	53	37	57	83	68.7%
		不足数	141	124	265	2,948	9.0%
IT 企業		社数	51	35	55	80	68.8%
		不足数	138	122	260	2,805	9.3%
本社別	県内	社数	29	24	32	46	69.6%
		不足数	75	95	170	2,408	7.1%
	県外	社数	22	11	23	34	67.6%
		不足数	63	27	90	397	22.7%

SE はシステムエンジニア、P はプログラマーを示す

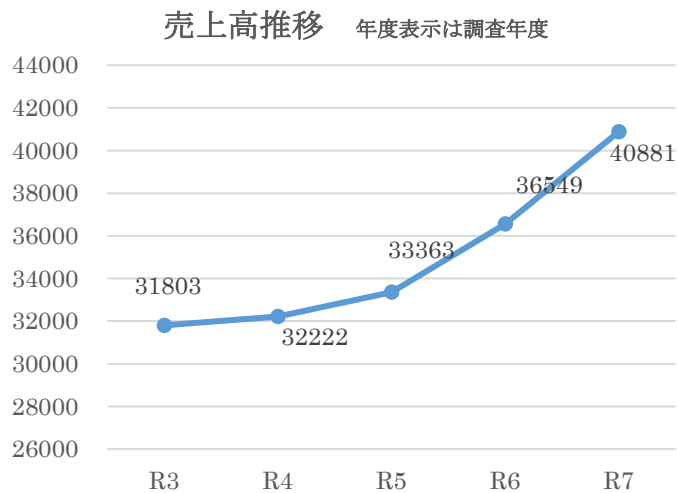


(2)売上高推移

a) 売上推移

・令和 7 年度調査ソフト系 IT 企業の売上額合計は 40,881 百万円で、前年比 11.9%の大幅な増加となった。

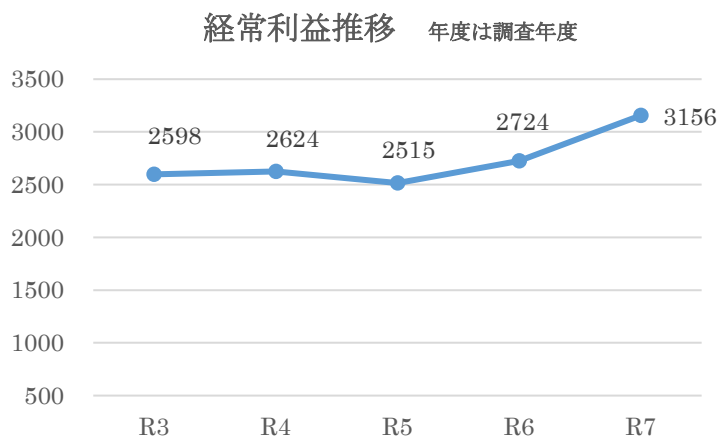
R5 年度調査	33,363 百万円(回答企業 66 社)	
R6 年度調査	36,549 百万円(回答企業 66 社)	(対前年比 109.5%)
R7 年度調査	40,881 百万円(回答企業 66 社)	(対前年比 111.9%)



b) 経常利益推移

・令和 7 年度調査ソフト系 IT 企業の経常利益額は 3,156 百万円で、前年度比 15.9%増。

R5 年度調査	2,515 百万円(回答企業 62 社)	
R6 年度調査	2,724 百万円(回答企業 62 社)	(対前年比 108.3%)
R7 年度調査	3,156 百万円(回答企業 62 社)	(対前年比 115.9 %)

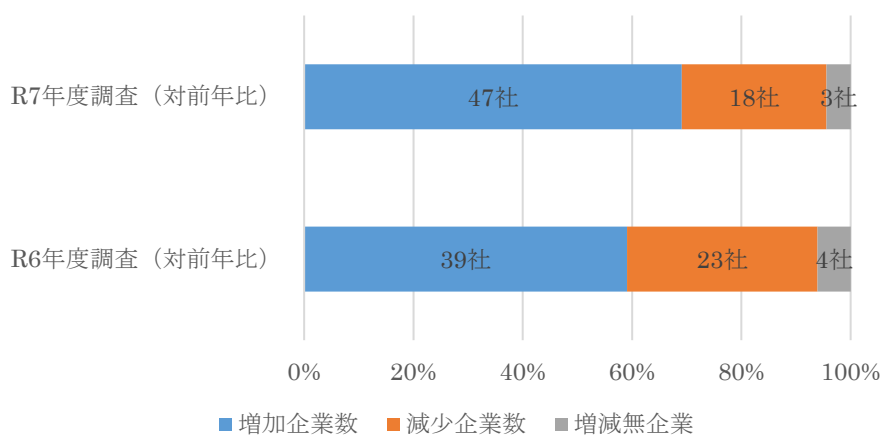


c) 売上の動向

- ・令和 7 年度調査売上で、前年に対し増加している企業数は、47 社。
- ・令和 7 年度調査売上で、前年に対し減少している企業数は、18 社。
- ・昨年と比較し、増加している企業の割合が 10.0 ポイント増の 69.1%、減少した企業割合は 8.4 ポイント減の 26.5%となっている。
- ・従事者数のクラス別では、5人以上10人未満のグループ及び、20人以上30人未満のグループで減少となった。
- ・100 人以上のクラス売上増加が 21 億円増加している。
- ・IT 従事者 1 人当たりの売上高の中央値は 12.2 百万円で 0.8 百万円増加。

	増加企業数	減少企業数	増減無企業数	合計
R6 年度調査売上高 (対前年比)	39 社	23 社	4 社	66 社
R7 年度調査売上高 (対前年比)	47 社	18 社	3 社	68 社

個別企業売上の増減



(3) Ruby 関連

a) Ruby エンジニア数推移(回答社全社)

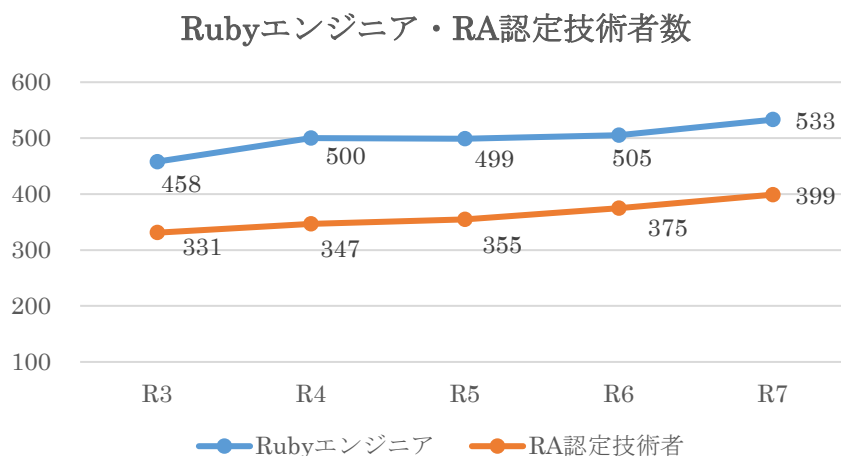
- ・令和7年度調査県内 Ruby エンジニア数は、533 名で前年比 5.5%増加となった。

	合計(社)
R5 年度調査	499 名(50 社)
R6 年度調査	505 名(52 社)
R7 年度調査	533 名(51 社)

b) Ruby アソシエーション認定技術者数推移(回答社全社)

- ・令和7年度調査 Ruby アソシエーション認定技術者合計数は、前年度比 6.4%増加。
- ・Ruby Silver については、前年比 6.8%増加した。
- ・Ruby Gold については、前年比 5.1%増加した。

	Ruby Silver	Ruby Gold	計
R5 年度調査	258 名	97 名	355 名
R6 年度調査	277 名	98 名	375 名
R7 年度調査	296 名	103 名	399 名

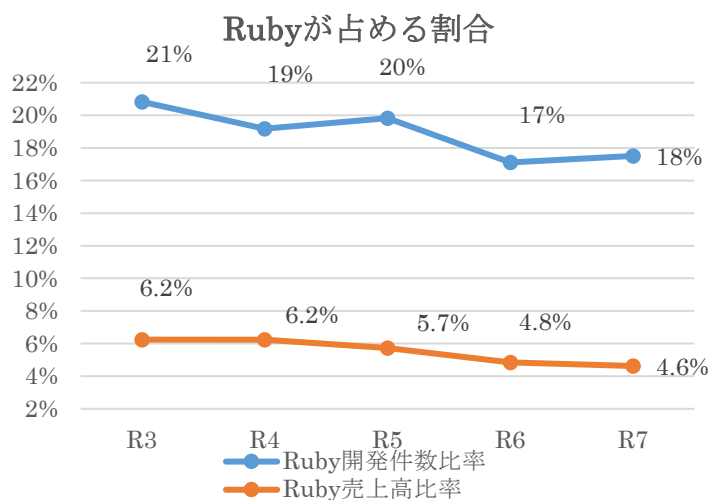


c)システム開発件数(ソフト系 IT 企業)

- ・令和 7 年度調査 1 件 50 万円以上のシステム開発件数は 3.2%減少した。
Ruby 開発件数は 1%減少した。
- ・システム開発における Ruby の件数割合は 17.5%である。

年 度	システム開発件数(県外)	Ruby 開発件数(県外)	Ruby 開発比率
R5 年度調査	1,725 件(181 件)	342 件(33 件)	19.8%
R6 年度調査	1,882 件(357 件)	322 件(20 件)	17.1%
R7 年度調査	1,822 件(360 件)	319 件(10 件)	17.5%

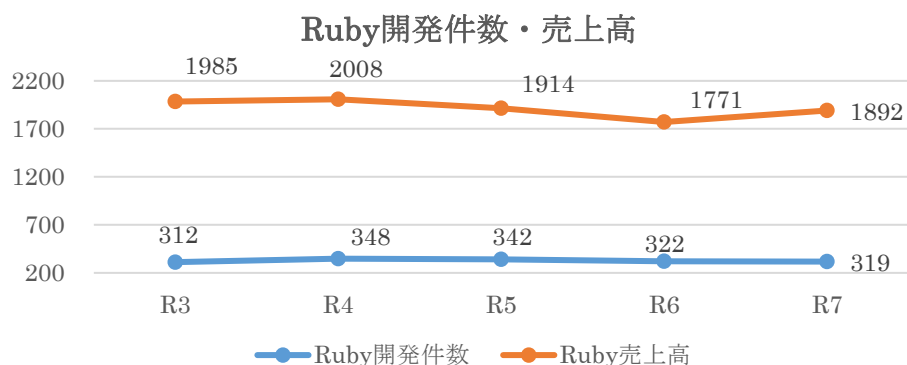
※県外:県外に本社を置く企業の開発件数



d)Ruby 開発売上額(ソフト系 IT 企業)

- ・令和 7 年度調査 Ruby 開発売上額は、前年比 6.8%の増加であった。Ruby を用いたシステム開発の売上は全体の売上の 4.6%である。
- ・Ruby エンジニアの 1 人あたりの受注金額（中央値）は 2.8 百万円である。

年 度	ソフト系 IT 企業全売上	ソフト系 IT 企業 Ruby 売上 (県外)	Ruby 売上比率
R5 年度調査	33,363 百万円	1,914 百万円(560 百万円)	5.7%
R6 年度調査	36,549 百万円	1,771 百万円(284 百万円)	4.8%
R7 年度調査	40,881 百万円	1,892 百万円(244 百万円)	4.6%



(4)情報処理技術者数(全回答社)

・ 情報処理関連国家資格取得に対する各社の熱意は大きいものがあり、近年特に情報セキュリティに関する資格取得の増加傾向が注目される。

	R5 年 4 月 1 日時点		R6 年 4 月 1 日時点		R7 年 4 月 1 日時点	
	社数合計	技術者数 合計	社数合計	技術者数 合計	社数合計	技術者数 合計
IT パスポート (初級シスアド)	50	361	53	405	53	444
基本情報 (二種)	64	806	66	871	65	949
応用情報 (一種・ソフトウェア開発)	43	340	49	359	50	376
データベース	24	60	27	67	24	67
ネットワーク	24	71	25	73	25	74
エンベテッド	6	9	7	10	6	10
情報セキュリティー	29	110	34	114	33	137
IT サービスマネージャ (システム管理)	6	25	7	27	7	26
システムアーキテクト (特種・アプリケーション)	10	33	12	36	10	29
プロジェクトマネージャ	8	33	10	37	11	40
IT ストラジスト (アナリスト・上級シスアド)	6	13	7	16	6	12
システム監査	4	5	5	6	5	5
情報処理安全確保支援士	—	—	—	—	19	54

(5) IT 関連施策への提言や協会活動、資格取得に関する要望、その他等

A社(県外)

・IT 現状、DX 化や採用に関するものなど、さまざまな行政機関主催のイベントに参加をさせていただいております。特に採用に関しては実際の応募に繋がっており、大変感謝しております。

今後当社(松江支店)は地域貢献の一環で事業所様の DX 化のサポートを行っていただきたいと思いますと考えております。その中で Ruby の活用などもしていければと考えます。

小さな事業所様においては、コストの問題で、手を付けられていない現状がございますので、助成金などを活用し、IT の力で地域がさらに盛り上がるよう当社としても邁進してまいります。

B社(県内)

- ・IT 人材育成の経費助成 (→行政)
- ・IT 技術者や IT 営業員等の人材確保支援 (→行政)
- ・継続的な IT 人材育成事業の推進 (→協会)

C社(県内)

IT 企業の誘致は本社機能を移転して欲しい。
なぜならば、地元の人材を採用する為のサテライトオフィスは、
地元企業のメリットになりません。
また、税収も地元に戻元されません。

D社(県外)

近年、ChatGPT などの生成 AI を含む AI 技術の活用が進み、今後も多くの産業・企業で導入が加速すると見込まれています。

島根県内でも、人手不足対応や業務効率化など、AI 活用のメリットは大きい一方で、「使い方が分からない」「人材がいない」といった不安の声もあります。

例えば、島根県として以下のような支援をいただけるとありがたいと思います：

- 1) AI 導入支援の補助や実証機会の提供
- 2) 導入に向けたセミナーや研修の実施

地域企業の競争力維持・強化のためにも、AI 導入に向けた後押しをぜひお願いいたします。

E社(県内)

＜開催していただきたい講座＞

AI 技術に関する講座

DX 関連に関する講座

F社(県内)

各企業が DX や AI 活用で使用しやすい補助金等の支援の拡充をお願いします。

G社(県内)

弊社では、IT 事業拡大及び人材採用への取組みを進めておりますが、弊社(松江湖南テクノパーク)におきまして、社員及び常駐いただきます協力会社様の駐車場スペースが不足しており、対策が急務となっております。対策として賃貸事務所を別ロケーションに用意してそこに一部組織を移動することや近隣の駐車場を探すなどの手段を講じておりますが、一企業としての解決が非常に困難な状況です。例えば松江湖南テクノパーク内に緑地公園がございますが、ここを駐車場として利用できるようにするなど IT 事業拡大及び人材採用のための施策としての松江湖南テクノパーク内企業向けの駐車スペース確保に向けてご検討を進めていただけますと幸いです。他企業様の松江湖南テクノパーク内事務所におきまして同様の課題があり、対策に苦戦していると聞いております。

どうぞよろしくお願いいたします。

H社(県内)

・県内調達に県外・首都圏企業や大手提供サービス(パッケージやクラウド)を前提とした要件での調達案件が増加していると感じます。そのため、要件や仕様、実績等の制約や条件が大きな壁となり、地場企業が入札にづらい状況が多々起きているように感じます。

場合によっては要件や機能的に本当に必要かという事案もあると感じます。

必要かどうかの見極めをし要件や機能をスリム化したより多くの地場 IT 企業が参加し易い形態や仕様での調達や事案を増やしていただきたいと思います。

また、異業種や地元民間企業との協業事案等に対しては補助金や助成などの予算含め一層の支援策強化をお願いしたい。

・情報産業協会の人材育成事業は年々その受講者数が増加傾向にありますが、島根県様の補助の上限額が決まっており、一定以上増加すると収益バランスが悪化する現状にあると聞いています。

行政含め各産業がそうであるように、IT 業界も人(人材)が宝であり、今後も人材育成事業が持続可能となるよう補助額上限の引き上げをお願いしたいと思います。と思います。

I社(県外)

引き続き共創、協業での島根発のアウトプットに向けてご支援いただければと思います。

J社(県外)

いつもお世話になっております。

島根県情報産業協会の総会や新年会等のイベントにつきまして、可能であれば年間スケジュールをご共有いただけますと大変ありがたく存じます。

もし年間での調整が難しい場合でも、開催の3か月ほど前に日程をお知らせいただけますと、予定の調整がしやすく、参加できる可能性が高まると感じております。

ご検討いただけますと幸いです。

引き続き何卒よろしくお願いいたします。

K社(県外)

昨年以上に AI 関連の動きが多くなっており、実際に日常の中にもどんどん入り込んできています。一般的な内容から分野を絞り込んだ利用や地元での活用事例など、地域ならではの取り組みに触れる機会や施設が増えると良いと感じます。

L社(県内)

AI 開発に関する最近の動向や技術についての交流もしくは講演を開催して欲しい。

M社(県外)

若手社員間の技術交流・意見交換などができるような取り組みをおこなっていただきたい。

N社(県外)

国家資格取得のみならず、新入社員から若手、中堅、ベテラン技術者が生涯に渡ってスキルアップやリスクリング出来るよう、階層別に体系立てた集合研修・出張研修・オンライン研修を実施してほしい。

特に新入社員から若手に対する研修を実施することで、自身のキャリア形成が出来ることによる企業定着、地元定着を計る事ができると考えます。

なお研修内容については企業ごとに要望が異なると考えられるので、今回のようにアンケートを取るなどしていただきたいです。

最期にアンケートの収集は Microsoft Forms や Google フォームを利用されることをお勧めいたします。

O社(県内)

今後の提言としては、行政が既に取り組まれておられる DX 拠点事業のような地域を包括的に支援していくコミュニティを充実させていくべきだと考えます。

人口減少、働き手不足が最たる島根県だからこそ地域中小企業の底上げは急務です。考え方も含めた“出来るところからの DX 化”を推進すべきだと考えます。

3. 調査結果集計表

3-1) 売上高・経常利益・IT 従事者数

区分	R5 年度調査								
	R5 年度調査 売上高 (百万円)	R5 年度調査 経常利益 (百万円)	IT 従事者数(R5 年 4 月 1 日時点)						
			県内従事者数			県外従事者数			合計(名)
			正社員・ 役員	非正規 雇用	派遣受 入れ	正社員・ 役員	非正規 雇用	派遣受 入れ	
全回答社	52,076	3,264	1,735	107	78	735	17	126	2,798
ソフト系 IT 社	33,363	2,515	1,600	106	78	726	17	126	2,653

区分	R6 年度調査								
	R6 年度調査 売上高 (百万円)	R6 年度調査 経常利益 (百万円)	IT 従事者数(R6 年 4 月 1 日時点)						
			県内従事者数			県外従事者数			合計(名)
			正社員・ 役員	非正規 雇用	派遣受 入れ	正社員・ 役員	非正規 雇用	派遣受 入れ	
全回答社	57,793	3,441	1,806	123	104	766	18	114	2,931
ソフト系 IT 社	36,549	2,724	1,677	123	101	757	18	114	2,790

区分	R7 年度調査								
	R7 年度調査 売上高 (百万円)	R7 年度調査 経常利益 (百万円)	IT 従事者数(R7 年 4 月 1 日時点)						
			県内従事者数			県外従事者数			合計(名)
			正社員・ 役員	非正規 雇用	派遣受 入れ	正社員・ 役員	非正規 雇用	派遣受 入れ	
全回答社	63,338	4,312	1,880	120	121	703	23	101	2,948
ソフト系 IT 社	40,881	3,156	1,749	120	116	696	23	101	2,805

有効回答社数(令和 7 年 7 月)

- ・アンケート回答社数 83 社(うちソフト系 IT 企業 80 社)
- ・売上高有効回答社数 71 社(うちソフト系 IT 企業 68 社)
- ・経常利益有効回答社数 65 社(うちソフト系 IT 企業 62 社)

3-2) Ruby 関連調査項目

①Ruby エンジニア数 ②Ruby アソシエーション認定技術者数 (全回答社)

	R5 年度調査			
	人数(R5 年 4 月 1 日時点)			
	Ruby エンジニア数	Ruby アソシエーション認定技術者数		
		Ruby Silver	Ruby Gold	合計
合計	499 名	258	97	355 名

	R6 年度調査			
	人数(R6 年 4 月 1 日時点)			
	Ruby エンジニア数	Ruby アソシエーション認定技術者数		
		Ruby Silver	Ruby Gold	合計
合計	505 名	277	98	375 名

	R7 年度調査			
	人数(R7 年 4 月 1 日時点)			
	Ruby エンジニア数	Ruby アソシエーション認定技術者数		
		Ruby Silver	Ruby Gold	合計
合計	533 名	296	103	399 名

③ システム開発件数(ソフト系 IT 企業)と Ruby を使用したシステム開発件数(内数) Ruby 開発売上額(受注金額 50 万円以上の件数 ソフト系 IT 企業)

	R5 年度調査		
	開発完了時点(R4 年 4 月 1 日～R5 年 3 月 31 日時点)		
	受注金額 50 万円以上のシステム開発件数		
	システム開発件数 (県外件数)	Ruby 開発件数:内数 (県外件数)	Ruby 開発売上額(県外分)
合計	1,725 件(181 件)	342 件(33 件)	1,914 百万円(560 百万円)

	R6 年度調査		
	開発完了時点(R5 年 4 月 1 日～R6 年 3 月 31 日時点)		
	受注金額 50 万円以上のシステム開発件数		
	システム開発件数 (県外件数)	Ruby 開発件数:内数 (県外件数)	Ruby 開発売上額(県外分)
合計	1,882 件(357 件)	322 件(20 件)	1,771 百万円(284 百万円)

	R7 年度調査		
	開発完了時点(R6 年 4 月 1 日～R7 年 3 月 31 日時点)		
	受注金額 50 万円以上のシステム開発件数		
	システム開発件数 (県外件数)	Ruby 開発件数:内数 (県外件数)	Ruby 開発売上額(県外分)
合計	1,822 件(360 件)	319 件(10 件)	1,891 百万円(244 百万円)

4. 回答企業一覧と参加団体

No.	本社 所在地	企業名	情産協	ビジネス研究会	その他
1	松江	(株)アイ・コミュニケーション	○	○	
2	東京	(株)アイティーエスピー	○		
3	東京	(株)アイティープロデュース出雲支店	○		
4	松江	(株)アイテック	○	○	
5	出雲	(有)アイナス		○	
6	東京	(株)アイル	○		
7	松江	(株)アキュートシスコム	○	○	
8	東京	(株)アズム	○		
9	松江	(株)アバンセ	○		
10	東京	(株)アレックス			○
11	出雲	(株)イーグリッド	○	○	
12	松江	(株)イーストバック		○	
13	東京	(株)イーダッシュ	○		
14	東京	(株)イード	○		
15	出雲	いずもトータルネット(株)		○	
16	松江	(株)イプシロンソフトウェア	○		
17	東京	(株)インターネットイニシアティブ	○		
18	東京	エクスウェア(株)	○		
19	大阪	(株)SI&C	○		
20	出雲	(株)エスティック	○	○	
21	松江	(株)エバーコム		○	
22	東京	エフ・エスソフトウェア開発(株)	○		
23	松江	(株)MC セキュリティ			○
24	松江	(株)オネスト	○	○	
25	東京	(株)オプティマ	○		
26	東京	(株)ケー・エス・イー 島根開発センター	○		
27	東京	ガリレオスコープ(株)	○		
28	東京	(株)コプロシステム	○		
29	松江	小松電機産業(株)	○		
30	東京	(株)コミクリ	○		
31	浜田	(株)コンピュータ・コンサルタント	○	○	

No.	本社 所在地	企業名	情産協	ビジネス研究会	その他
32	大阪	三徳コーポレーション(株)			○
33	松江	(株)SacoS	○		
34	東京	(株)CIC	○		
35	愛知	(株)CMC Solutions	○		
36	出雲	(株)シーエスエー	○	○	
37	松江	(株)ジェットシステム	○	○	
38	松江	(株)システムリンク		○	
39	松江	(株)システム工房エム	○	○	
40	出雲	(株)島根情報処理センター	○	○	
41	松江	島根電工(株)	○		
42	松江	セコム山陰(株)	○		
43	益田	(株)ソコロシステムズ		○	
44	松江	ティーエスケイ情報システム(株)	○		
45	東京	ディーアイエスソリューション(株)			○
46	松江	(株)ティーエム 21	○	○	
47	松江	(株)テクノプロジェクト	○	○	
48	東京	テラテクノロジー(株)	○		
49	東京	トレンダーズ(株)			○
50	松江	(株)トラストソフトウェア	○		
51	松江	日海通信工業(株)	○		
52	愛知	日本システム開発(株)	○		
53	出雲	(株)日本ハイソフト	○	○	
54	東京	(株)日本ワイドコミュニケーションズ			○
55	松江	(株)ネットワーク応用通信研究所	○	○	
56	出雲	(株)バイタルリード	○		
57	浜田	パストラルコンピューターシステム(株)			○
58	東京	(株)パソナテック 島根 Lab	○		
59	浜田	(株)浜田コンピュータシステム	○	○	
60	東京	(株)ピーエスシー	○		
61	松江	ピーシーエッグ(株)		○	
62	松江	(株)ビジネスインフォーメーションガーヴァン		○	
63	東京	(株)ヒューマンシステム	○		
64	松江	(有)ヒューマンネット	○	○	
65	松江	ファーエンドテクノロジー(株)	○		

No.	本社 所在地	企業名	情産協	ビジネス研究会	その他
66	東京	(株)フェンリル	○		
67	出雲	(株)プロビズモ	○	○	
68	松江	(株)ペンタスネット	○	○	
69	益田	(株)マイメディア	○	○	
70	益田	(株)マスダシステム開発		○	
71	松江	(株)マツケイ	○	○	
72	松江	(株)松江情報センター	○	○	
73	松江	(株)ミック	○		
74	東京	(株)モンスター・ラボ 島根開発拠点	○		
75	松江	(株)八雲ソフトウェア	○		
76	東京	(株)八興システムズ	○		
77	松江	(有)ヨネザワ写真館			○
78	松江	(株)ルーツ		○	
79	松江	和幸情報システム(株)	○	○	
80	東京	(株)Relic※	○		
81	岩手	(株)リードコナン※	○		
82	松江	(有)ピー・エム・エー※	○		
83	大阪	(株)ユニオンシンク※	○		
		小計	65 社	33 社 (内情産協会員 23 社)	8 社
		合計	83 社		

※新規回答企業4社